

別紙 1

年間を見通した「いじめ防止指導計画」について

いじめの未然防止や早期発見のために、学校全体で組織的、計画的に取り組むために、年度当初に組織体制を整えると同時に、年間の計画を立てて、学校全体でいじめの問題に取り組めます。

		項 目	時 期
いじめ防止のための措置	児童が主体となった活動	○学級活動等での話し合い活動の充実	通年
		○ボランティア活動の推進	通年
		○学年・学級による「みんなで遊ぶ日」の推進	通年
		○縦割り清掃活動の実施	通年
		○集団登校での異学年班編成による活動（地区）	通年
		○学級活動による議題箱の設置	通年
		○運営委員会を中心とした、いじめ防止に関する企画の立案、取組内容の全校朝会や校内放送による呼びかけ等の実施	2～3学期
		○児童による学校行事や集会の企画・運営（1年生を迎える会・お別れ集会）	4月・3月
	教職員が主体となった活動	○一人一人の実態に応じたわかる授業の展開	通年
		○生徒指導の三機能を生かした授業の展開	通年
		○職員相互の授業研究会の実施	通年
		○祝吉っ子タイム、教育相談週間における教育相談の設定	通年
		○「自学ノート」を活用した家庭・児童との連絡体制の充実	通年
		○教科や特別活動、道徳科の時間等の全教育活動を通した道徳教育や情報モラル教育の実施	単元計画に基づく
		○情報モラルに関する職員研修会の実施	夏季休業中
		○「携帯電話に関する調査（県）」の実施及び家庭への啓発	11月
		○PTA総会での学校の方針説明	通年
		○学校通信等を活用したいじめの防止活動の啓発	通年
		○学校公開（オープンスクール）の実施	10月
いじめの早期発見	○児童の発する具体的なサインの見直し・作成と共有 ※別紙2、3参照	通年	
	○祝吉っ子タイムでの教育相談、教育相談週間の設定	毎月	
	○学校独自のアンケート「生活アンケート」の実施	毎月1回	
	○県下一斉のアンケートの実施	11月予定	
	○「すこやかカード」活用と情報の集約・共有	毎月末	
	○連絡会・職員研修会議での情報の共有	通年	
	○進級、進学時の情報の確実な引き継ぎ（すこやかカード・学年引き継ぎ簿の活用）	3月	

※ 計画を作成するに当たっては、教職員の研修や児童への指導、地域や保護者との連携などに留意し、総合的にいじめ対策を推進していきます。

## 別紙2

### 1 いじめられている児童のサイン

いじめられている児童は自分から言い出せないことが多い。複数の教職員が、複数の場面で児童を観察し、小さなサインを見逃さないことを大切にする。

場 面	サ イ ン
登校時 朝の会	遅刻・欠席が増える。その理由を明確に言わない。 教職員と視線が合わず、うつむいている。 体調不良を訴える。 身体に傷や殴られた痕がある。 表情が暗く、どこかおどおどしたりふさぎ込んだりして元気がない。提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。
授業中	教職員が教室に入室後、遅れて入室してくる。 保健室・トイレに頻繁に行くようになる。 教材等の忘れ物が目立つ。 机周りが散乱している。 決められた座席と異なる席に着いている。 教科書・ノートに汚れがある。 発言すると嘲笑される。 教職員や児童の発言などに対して、突然個人名が出される。
給食中	一人だけ机を拭いてもらえない。 給食当番で、「つぐな(配膳するな)」と言われたり、受け取ってもらえなかったりする。 グループで食べる時、机を離されたり、会話に入れてもらえなかったりする。 食欲がなくなる。 給食のおかずやデザートを他人に与えている。
休み時間	用事もないのに職員室や保健室の近くにいることが増える。 ふざけ合っているが表情がさえない。 衣服の汚れ等がある。 友達が急に変わったり、教職員が友達の事を聞くと嫌がったりする。 一人でぼつんとしたり、所在無くうろうろしたりする。 特定のグループと常に同行動をとる。
清掃時間	役割分担がいつも固定化している。 後片付けをいつも一人でしている。
放課後等	慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。 持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされたりする。 一人で部活動の準備、片付けをしている。

### 2 いじめている児童のサイン

いじめている児童がいることに気が付いたら、積極的に児童の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

	サ イ ン
	教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしたり、目配せしたりする。 ある児童(生徒)にだけ、周囲が異常に気を遣っている。 教職員が近づくと、不自然に分散したりする。 自己中心的な行動が目立ち、集団の中心的な存在の児童がいる。

## 別紙 3

### 1 教室でのサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

	サ イ ン
	嫌なあだ名が聞こえる。 席替えなどで近くの席になることを嫌がったり、回りから離されたりしている。 何か起こると特定の児童の名前が出る。 筆記用具等の貸し借りが多い。
	壁等にいたずら、落書きがある。 机や椅子、教材等が乱雑になっている。

### 2 家庭でのサイン

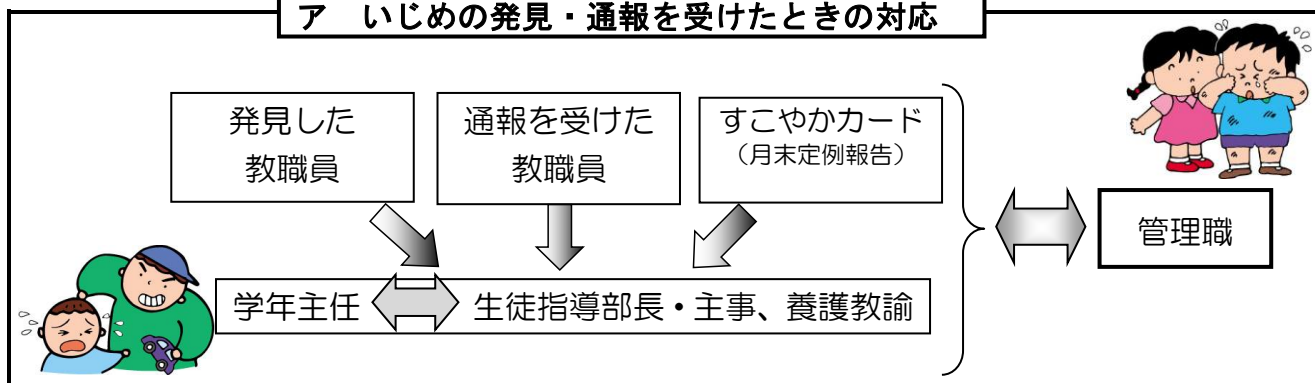
家庭でも多くのサインを出している。児童の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

	サ イ ン
	いらいらしたり、言動が激しくなったりする。 学校や友だちのことを話さなくなる。 友だちやクラスの不平・不満を口にするようになる。 朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。 電話に出たがらなかったり、友だちからの誘いを断ったりする。 受信したメールをこそこそ見たり、電話におびえたりする。 不審な電話やメールがある。 遊ぶ友だちが急に変わる。 部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。 表情がさえず、時折涙を流す。 転校したい、生まれ変わりたいという言葉が聞かれる。
	理由のはっきりしない衣服の汚れがある。 理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。 登校時刻になると体調不良を訴える。（頻尿や腹痛、下痢、原因不明の熱等） 食欲不振・不眠を訴える。
	学習時間が減る。 成績が下がる。
	持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。 家庭の品物、金銭がなくなる。 大きな額の金銭を欲しがる。

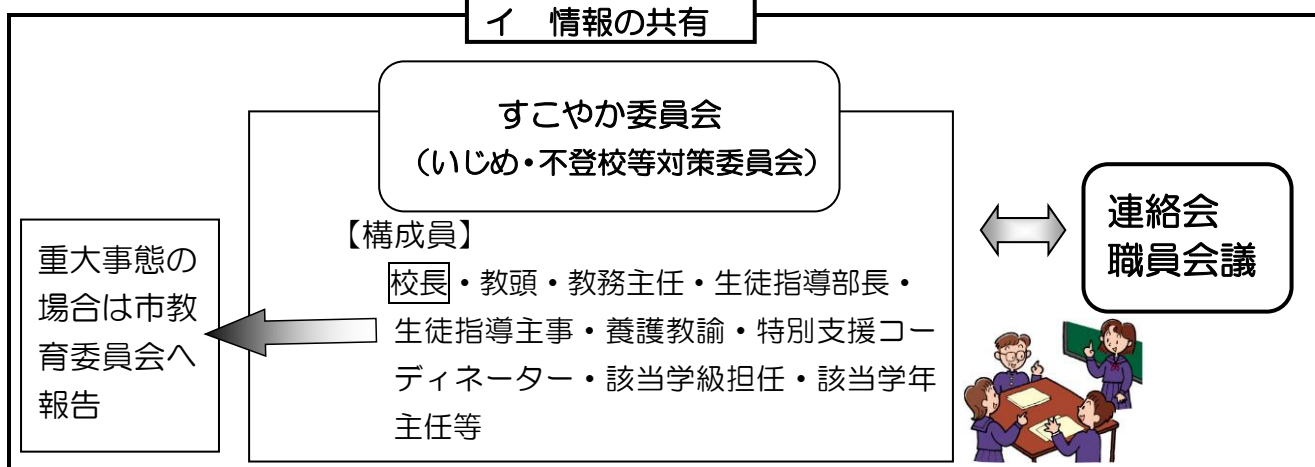
## 別紙4

### いじめに対する措置（緊急時の組織的対応）

#### ア いじめの発見・通報を受けたときの対応



#### イ 情報の共有



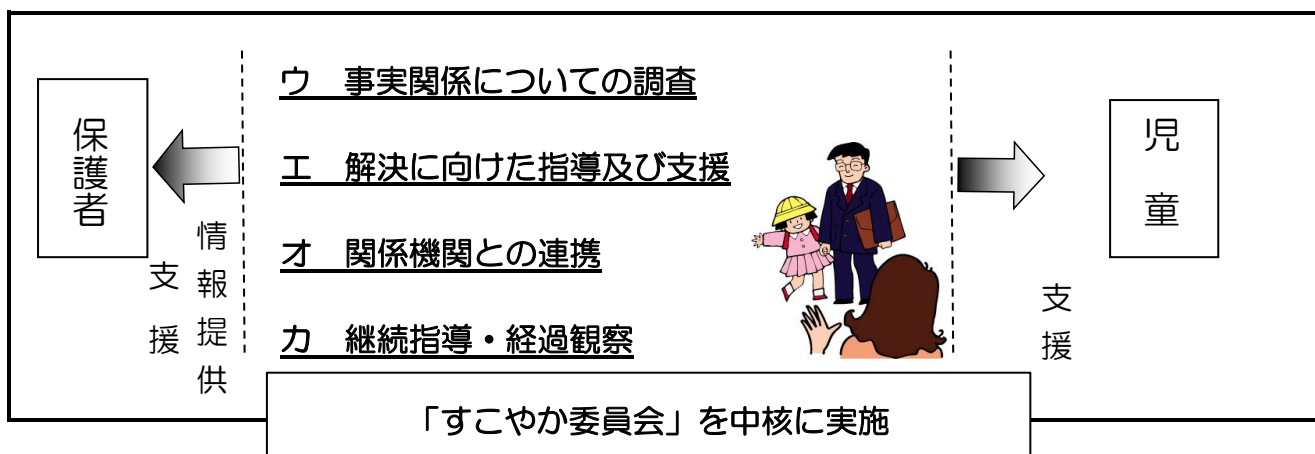
#### ウ 事実関係についての調査

#### エ 解決に向けた指導及び支援

#### オ 関係機関との連携

#### カ 継続指導・経過観察

「すこやか委員会」を中核に実施



#### 祝 吉 小 学 校

